

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for project name, policy system position, financial system position, and budget items. Includes details for '狩友会助成事業' and '農林業の振興'.

法令根拠 桜川市鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行細則○桜川市鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律施行細則

Table (1) Summary of business activities. Includes sections for '① 事務事業の概要' and '② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順'.

Table (2) Business activity methods, targets, and indicators. Includes columns for activity methods, targets, and various indicators like '活動指標' and '対象指標'.

Table (3) Investment (business cost) trends. Includes columns for 29th, 30th, and 01st years, and a section for '期間限定総投入量'.

Table showing business cost trends for 30th and 01st years. Includes columns for '30年度事業費実績(千円)' and '01年度事業費予算(千円)'.

Table (4) Implementation content for the current fiscal year. Includes columns for '01年度の事業内容', '02年度の事業内容', and '03年度の事業内容'.

事務事業名	猟友会助成事業	事務事業No.	40104000868	所属課	農林課
-------	---------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 有害鳥獣による被害が年々増加し、猟友会との協力・連携のため開始した。		
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 猟友会からは、わな等の部品や捕獲に使用する銃弾などのコスト増により、運営が厳しいとの意見がある。		
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容		
<table border="1"> <tr> <td>改革改善を行う</td> <td>会員一人あたり5,000円の補助金を増額し、その分を猟友会加入の際の手数料等から差し引いてもらうことで、猟友会加入に係る負担を軽減し、会員の維持や捕獲量の向上につながる。</td> </tr> </table>	改革改善を行う	会員一人あたり5,000円の補助金を増額し、その分を猟友会加入の際の手数料等から差し引いてもらうことで、猟友会加入に係る負担を軽減し、会員の維持や捕獲量の向上につながる。
改革改善を行う	会員一人あたり5,000円の補助金を増額し、その分を猟友会加入の際の手数料等から差し引いてもらうことで、猟友会加入に係る負担を軽減し、会員の維持や捕獲量の向上につながる。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 有害鳥獣対策において、豊富な知識と経験を持ち、狩猟免許を有する猟友会との協力は必要不可欠である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 部品代や銃弾などのコスト増などがある中、猟友会都市との協力体制を維持する中で、猟友会の運営費補助は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現状の部品代や銃弾などのコスト増の中で、補助額を維持しながらの成果向上は難しいと考える。補助を増額することで猟友会員の増加などの成果は見込めると考えられる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 猟友会との連携を弱め、有害鳥獣対策の効率を低下させると思われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 事業の統廃合は難しい。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 被害の増大に伴い猟友会の負担は年々増加しており、補助額の削減は活動内容の縮小につながる。また業務時間については、最低限の時間で言うことが出来ている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 猟友会との協力は、桜川市全体の有害鳥獣対策に欠かせないものである。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	桜川市の有害鳥獣対策において、猟友会との協力は欠かせないものであり、事業内容は妥当である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持			×																				
	低下			×																				
猟友会員は増加傾向にある。しかし高齢化が進んでいるため、各地区内で後継者の育成を推進していく必要がある。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認